自転車取扱説明書〔3〕

電動アシスト自転車編

ご注意

● ご使用前に必ず本編と別冊の自転車取扱説明書〔1〕をお読みください。
● 本取扱説明書と別紙品質保証書は大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意 3

走行可能距離が短くなる環境や使いかた …… 7

各部のなまえ 8

はじめてお乗りになるときの準備 9

はじめに ― 本製品について …… 9
はじめてお乗りになるときの準備と手順 …… 9
バッテリーを充電する …… 10
「SmaChari®」アプリをインストールする …… 10
車体（通信ユニット）とスマートフォンのペアリングをする …… 11

乗りかた 16

発進の手順 …… 16
停止、駐輪の手順 …… 19

バッテリーの充電 21

充電のしかた …… 21
充電状態の確認 …… 25
バッテリー残量を確認する …… 26
バッテリーについて …… 27

乗車前点検をしましょう 30

乗車前の点検 …… 30

お手入れと保管 32

長期保管（1か月以上）と長期保管後の再使用 … 32

こんなときは 33

故障かな？と思ったら …… 33

ご存じですか？ 37

防犯登録について …… 37

ご使用にあたってのご注意

電動アシスト自転車は道路交通法上は軽車両です。運転免許証は不要ですが、普通の自転車とは異なる部分があります。
安全、快適にお乗りいただくため、ご使用前にはこの取扱説明書を必ずお読みください。この取扱説明書と保証書は紛失しないよう大切に保管してください。電動アシスト自転車を他人に譲る場合は、次のお客さまのためにこの取扱説明書もお渡しください。

この自転車を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This bicycle is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.

この商品にはリチウムイオン電池を使用しています。
リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

Li-ion20

商品の仕様、その他の変更により、この取扱説明書の内容やイラストと実車が異なる場合がありますがご了承ください。

安全上のご注意

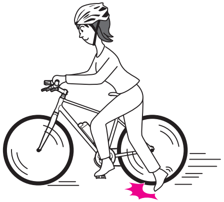
一般自転車の注意事項に関しては、自転車取扱説明書〔1〕安全上のご注意を参照願います

転倒や事故を防ぐために

禁止　けんけん乗り※をしない

※けんけん乗りとは、片足でペダルをこぎながら助走し、反動をつけてサドルにまたがる乗り方です。

転倒や事故によるケガのおそれがあります。



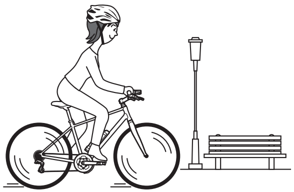
禁止　発進時はペダルを強く踏み込みすぎない

思わぬ急発進により転倒や事故によるケガのおそれがあります。

● 一般の自転車のように強く踏み込まなくても、楽に発進することができます。

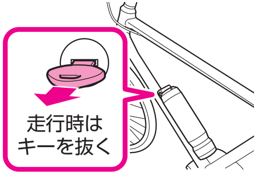
必ず守る　電動アシスト自転車に慣れるまで充分練習する

車が通らない平坦な場所（自転車を乗り入れても良い公園や広場など）で充分に練習してください。



禁止　バッテリーロックにキーを挿したまま走行しない

思わぬ事故によるケガのおそれがあります。



禁止　停車中はペダルに足を乗せない

不用意なアシスト力が働き転倒や事故によるケガのおそれがあります。

● 停車中は前後のブレーキをかけてください。

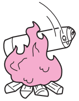
安全上のご注意

バッテリー・充電器

禁止

バッテリーを火中に入れたり、加熱させたりしない

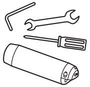
液漏れ、異常発熱、破裂の原因になります。



分解・改造禁止

バッテリーの分解、改造はしない

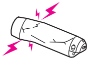
感電、液漏れ、異常発熱、破裂の原因になります。



禁止

バッテリーケースが破損したバッテリーは使用しない

液漏れ、異常発熱、破裂、バッテリーを落としたりする原因になります。



水ぬれ禁止

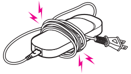
バッテリーに水や海水をかけたり、水中に入れない

ショート、異常発熱で使用できなくなります。雨に濡れたときは、そのまま放置せずに、乾いた布で水滴をふき取ってください。

禁止

コードを束ねた状態で使用したり、充電器本体に巻きつけて保管しない

コードの損傷により、火災や感電などの原因となるおそれがあります。



禁止

充電器は専用電池（バッテリー）以外の充電には使用しない

感電、発火、異常発熱のおそれがあります。

禁止

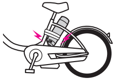
バッテリーの電源端子を金属などでショートさせない

感電、液漏れ、異常発熱、破裂の原因になります。

禁止

専用のバッテリーのため、指定以外の機種に接続しない

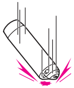
液漏れ、異常発熱、破裂の原因になります。



禁止

バッテリーを落下させたり衝撃を与えるなど乱暴な取扱いをしない

ケースの破損、液漏れ、異常発熱、破裂の原因になります。



安全上のご注意

バッテリー・充電器

禁止

バッテリーを閉めきった倉庫や、自動車内など、高温になる場所に保管、または長時間放置しない

発火、異常発熱、破裂のおそれがあります。

必ず守る

バッテリーを充電する場合は専用の充電器を使用する

他の充電器を使用すると発火、異常発熱、故障のおそれがあります。

分解・改造禁止

充電器の分解、端子間のショート、改造はしない

感電、発火、異常発熱のおそれがあります。

禁止

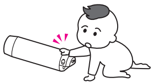
充電端子にボタン電池や乾電池を接触させない

感電、液漏れ、異常発熱、破裂の原因になります。

禁止

幼児やペットの手の届くところでは充電しない

感電やケガの原因になります。



禁止

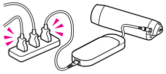
充電機を落下させたり衝撃を与えたりしない

感電、液漏れ、異常発熱、破裂の原因になります。

禁止

延長コードの使用、他の電気器具とのタコ足配線はしない

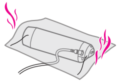
感電、異常発熱、火災のおそれがあります。



禁止

充電中に周囲にカバーをしたり、上に物を置かない

内部が発熱し、火災のおそれがあります。



必ず守る

電源は交流 100V 専用のコンセントを使用する

火災、感電の原因になります。

安全上のご注意

バッテリー・充電器

プラグを持って抜く

電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端のプラグを持って抜く

感電、ショート、発火の原因になります。

禁止

電源プラグにゴミや土、油を付着させない

感電や発火のおそれがあります。

水ぬれ禁止

浴室など湿気の多いところや、屋外で雨にぬれるところなどでは充電しない

感電、発火、異常発熱のおそれがあります。

禁止

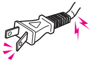
充電中は、充電器に長時間触れない

ケースの温度が 40℃～ 60℃になる場合があり、低温やけどのおそれがあります。

禁止

充電器のケース、コードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

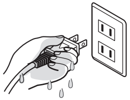
感電、発火、異常発熱のおそれがあります。



ぬれ手禁止

電源プラグをぬれた手で抜き差ししない

感電することがあります。



プラグを抜く

充電しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておく

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

取扱注意

充電器コードがドアやサッシなどに挟まれないよう取り扱いには十分に注意する

コードを傷つけ感電や発火のおそれがあります。

禁止

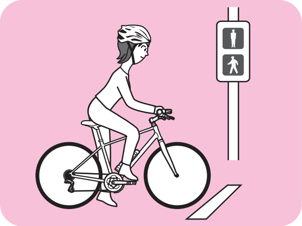
充電中は引火のおそれがあるものを近づけない

スパークし、火災や爆発などの原因となることがあります。

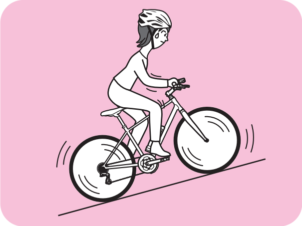
電動アシスト自転車について

走行可能距離が短くなる環境や使いかた

●以下の状況で走行すると、走行可能距離が短くなります。

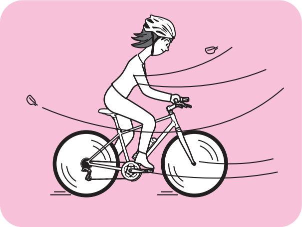


発進・停止の回数が多い



急な坂道が多い

路面の状態が悪い



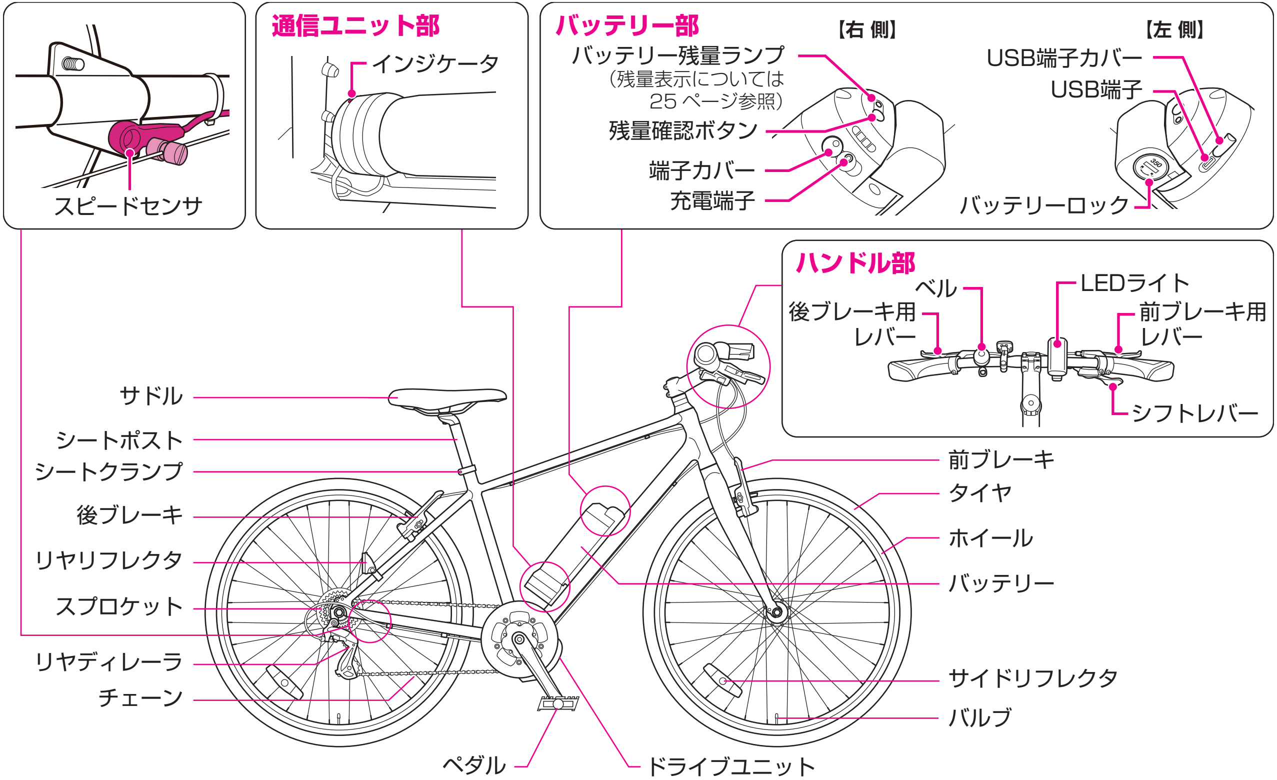
向かい風が強い

気温が低い

バッテリーが劣化している

●整備不良の場合も、走行可能距離が短くなります。
走行可能距離が短くなる整備不良の例：
・タイヤの空気圧が低下している　・チェーンが滑らかに動かない　・常にブレーキが効いている　など

各部のなまえ



スピードセンサ
通信ユニット部
インジケータ
バッテリー部
【右 側】
バッテリー残量ランプ
（残量表示については
25 ページ参照）
残量確認ボタン
端子カバー
充電端子
【左 側】
USB端子カバー
USB端子
バッテリーロック
ハンドル部
ベル
後ブレーキ用
レバー
LEDライト
前ブレーキ用
レバー
シフトレバー
サドル
シートポスト
シートクランプ
後ブレーキ
リヤリフレクタ
スプロケット
リヤディレーラ
チェーン
ペダル
ドライブユニット
前ブレーキ
タイヤ
ホイール
バッテリー
サイドリフレクタ
バルブ

はじめてお乗りになるときの準備

はじめに — 本製品について

本製品は、専用スマートフォンアプリ「SmaChari®」と連動して、アシスト電源のオン／オフ、アシストモードやアシスト速度の設定などの操作を行います。

電動アシスト機能をお使いになるには、お使いのスマートフォンへの「SmaChari®」アプリのインストール、ならびに車体（通信ユニット）とのペアリングが必要です。

次の「はじめてお乗りになるときの準備」の手順に従い、お乗りになるための準備を完了させてください。

本製品は、アルプスアルパイン社製の Bluetooth® 製品を搭載した電動アシスト付き自転車です。

はじめてお乗りになるときの準備と手順

ステップ 1	バッテリーを充電する （➡ 10 ページ）

▼

ステップ 2	スマートフォンに 「SmaChari®」アプリをインストールする （➡ 10 ページ）

▼

ステップ 3	車体（通信ユニット）とスマートフォンのペアリング設定をする※ （➡ 11 ページ）

※ 2回目以降は「SmaChari®」アプリを起動するだけで自動でペアリングが行われます。

はじめてお乗りになるときの準備

ステップ 1 バッテリーを充電する

本製品の電動アシスト機能をお使いになるために、バッテリーを充電してください。

お知らせ

- はじめてお使いになるときは、必ずバッテリーを満充電にしてからお使いください。
- バッテリーの充電は、車体から取り外して行う方法と、車体に取り付けたまま行う方法があります（それぞれの充電のしかたは下記参照先から）。
- 本製品のバッテリーは、USB 接続ケーブル（市販品）を使用してスマートフォンなどの外部機器へ給電することができます。

バッテリーの充電方法については以下のページをご覧ください。

☞「バッテリーを取り外して充電するとき」21 ページ
☞「バッテリーを取り外さずに充電するとき」24 ページ

ステップ 2 「SmaChari®」アプリをインストールする

本製品の電動アシスト機能をお使いになるために、お使いのスマートフォンに専用アプリ「SmaChari®」をインストールしてください。
アプリは下記よりダウンロードしてください。

「SmaChari®」アプリのインストールはこちらから

https://www.honda.co.jp/SmaChari/

はじめてお乗りになるときの準備

ステップ 3 車体（通信ユニット）とスマートフォンのペアリングをする

バッテリーの充電、「SmaChari®」アプリのインストールが完了したら、車体（通信ユニット）とスマートフォンのペアリングを行います。

●ペアリングとは Bluetooth® 通信を利用し、お使いのスマートフォンに本製品を登録させる操作です。

●はじめて Bluetooth® 接続を行うときや、ペアリング登録を解除したときは、ペアリングを行う必要があります。

●Bluetooth® 接続およびペアリングは「SmaChari®」アプリを使用して行います。

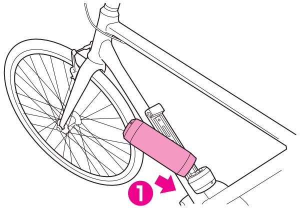
※ お使いのスマートフォンの種類や OS のバージョンによりペアリング方法が異なります。詳しくはお使いのスマートフォンの取扱説明書等をご参照ください。

※ **通信ユニットのソフトウェアライセンスについて**
本製品に組み込まれたソフトウェアは、オープンソースソフトウェアを含みます。
オープンソースソフトウェアの詳細に関しては、以下ウェブサイトの CVAYTOA フォルダをご覧ください。
https://oss.alpsalpine.com/top/

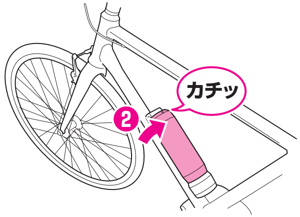
バッテリーを取り付ける

バッテリーの接続部にごみなどが付着していないことを確認してください。

1 **バッテリー底部と車体側の台座にある端子が合うようにして、バッテリー下部を左方向からななめに差し込みます**



2 **バッテリー上部をカチッと音がするまで押し込んで固定します**

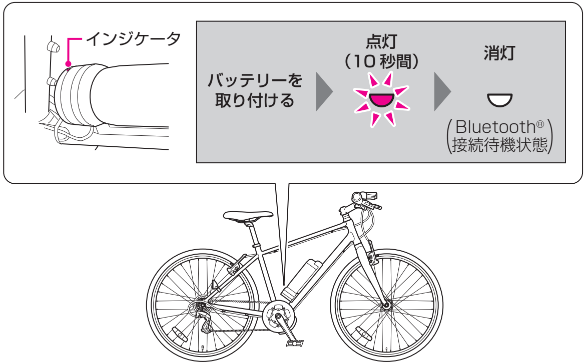


はじめてお乗りになるときの準備

3 通信ユニットのインジケータを確認します

バッテリーを取り付けると通信ユニットのインジケータが10 秒間点灯し、その後消灯します。

消灯すると Bluetooth® 接続待機状態になります。



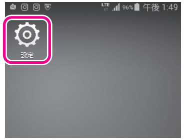
※ インジケータの点灯色はバッテリー残量を表します。

点灯色	状態
緑色	100 ～ 50%
橙色	49 ～ 20%
赤色	19%以下（充電してください）

ペアリング設定をする

■ Android の場合（例）

1「SmaChari®」アプリをインストールしたスマートフォンのホーム画面で「設定」をタップします



2「無線とネットワーク」から「Bluetooth®」をタップします

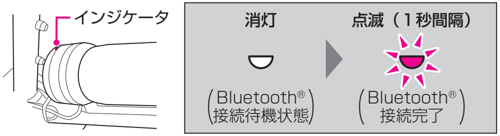
3「Bluetooth®」のスイッチをタップして「ON」にします

はじめてお乗りになるときの準備

4 「SmaChari®」アプリを起動します

5 「SmaChari®」アプリのメニュー画面で「車両切替」から、接続したい車両をタップします

通信ユニットのインジケータが 1 秒間隔で点滅すると、接続完了です。



※接続時に同期の許可を求められた場合は「許可」を選択してください。（機種やバージョンによっては求められない場合があります。）

※車両に接続できない場合は「SmaChari®」アプリを終了後、スマートフォンの Bluetooth® 機能を OFF にし、再度 ON にしてから「SmaChari®」アプリを起動してください。それでも接続できない場合はバッテリーを通信ユニットから一旦取り外し、取り付け直してから再度操作を行ってください。

準備完了です!	さっそく乗ってみましょう ➡乗りかた（16 ページ）へ

はじめてお乗りになるときの準備

■ iPhone の場合（例）

1 「SmaChari®」アプリをインストールしたiPhoneのホーム画面で「設定」をタップします

2 「Bluetooth®」をタップします

3 「Bluetooth®」のスイッチをタップして「ON」にします

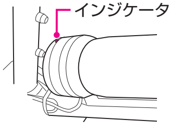
4 「SmaChari®」アプリを起動します

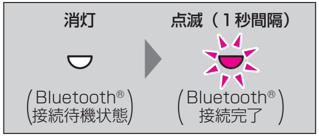
5 「SmaChari®」アプリのメニュー画面で「車両切替」から、接続したい車両をタップします

はじめてお乗りになるときの準備

6 **ダイアログが表示されたら「100123」を入力し、「ペアリング」をタップします**

通信ユニットのインジケータが 1 秒間隔で点滅すると、接続完了です。





※接続時に同期の許可を求められた場合は「許可」を選択してください。（機種やバージョンによっては求められない場合があります。）

※車両に接続できない場合は「SmaChari®」アプリを終了後、iPhone の Bluetooth® 機能を OFF にし、再度 ON にしてから「SmaChari®」アプリを起動してください。それでも接続できない場合はバッテリーを通信ユニットから一旦取り外し、取り付け直してから再度操作を行ってください。

準備完了です!	**さっそく乗ってみましょう** **➡乗りかた（16 ページ）へ**

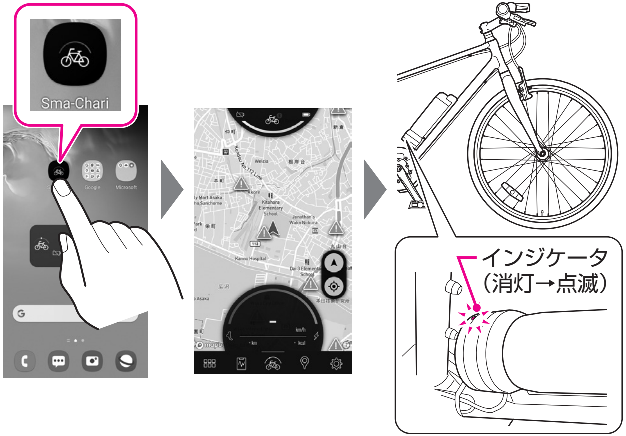
乗りかた

お乗りになる前には必ず「乗車前点検」を心がけましょう
➡乗車前点検をしましょう（30 ページ）へ

> **⚠ 警告**
>
> ●スマートフォンを自転車に取り付ける場合は、必ずスマートフォンホルダ（市販品）にしっかりと固定してください。確実に固定されていないと、操作中や走行中にスマートフォンが落下するおそれがあります。

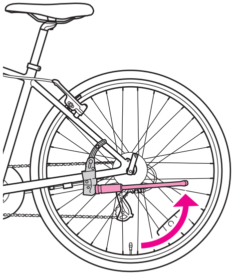
発進の手順

1 「SmaChari®」アプリを起動します



通信ユニット部のインジケータが消灯から点滅に変わったことを確認してください。

2 スタンドをあげてフレームにまたがります



ハンドルを両手でしっかりと握って車体を支えながら、スタンドをあげてください。

乗りかた

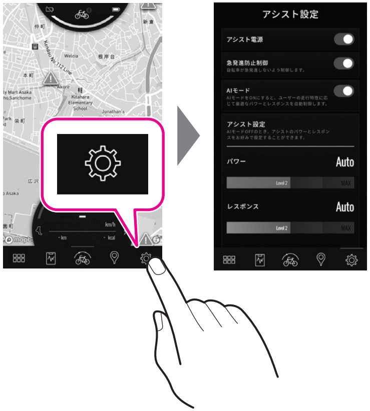
⚠ 警告

けんけん乗りはしない

転倒や事故によるけがのおそれがあります。必ずサドルにまたがってから発進してください。

* けんけん乗りとは
片足でペダルをこぎながら助走し、反動をつけてサドルにまたがる乗りかたです。

3 「SmaChari®」アプリの設定画面でアシストレベルなどの設定をします



「SmaChari®」アプリの詳しい設定・操作方法については以下のウェブサイトにてご確認いただけます。

https://www.honda.co.jp/SmaChari/

4 安全を確認し、ペダルをゆっくり踏み込んで発進します

前後左右の安全を確認し、しっかりとハンドルを握り、ペダルをゆっくり踏み込み発進します。

● ペダルを踏み込むとパワーアシストシステムが働きます。

変速位置の切り替え

●別冊の自転車取扱説明書〔2〕をご覧ください。

ポイント

●変速位置を、シフトレバーの数字が小さくなるようシフトダウンしてご利用いただくと、スピードは遅くなりますが、バッテリーの消費を節約して、走行可能距離を伸ばすことができます。また、温度上昇によるバッテリー性能の低下を回避させることができます。

乗りかた

発進時および走行中のお願いとご注意

●電動アシスト自転車は特性上、ペダルを踏み込むと力強く発進しようとしますのでご注意ください。

●停車中はブレーキをかけて、ペダルに足を乗せないようにしてください。

坂道の手前では、ブレーキの効き具合を確認してください。また、急な坂道では安全のため、降りて押してください。

●空き地や人がいない安全な場所でよく練習してから一般道路を走行してください。

⚠ 注意

発進時はハンドルの傾きに注意する

発進時はハンドルを真直ぐにしてください。ハンドルが横向きのままペダルを強く踏み込むと、バランスを崩すおそれがあります。

ポイント

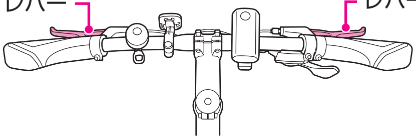
●ペダルに足をかけた状態で後ろにさがろうとすると、パワーアシストシステムが作動して後ろにさがりにくくなります。

ペダルから足を降ろして数秒間待ってから、後ろにさがってください。

乗りかた

停止、駐輪の手順

ブレーキのかけ方



後ブレーキをかけながら前ブレーキをかけてください。

●左側が後ブレーキ、右側が前ブレーキです。

●下り坂では、強くブレーキをかけっぱなしにせず、小刻みにかけてください。

⚠ 警告

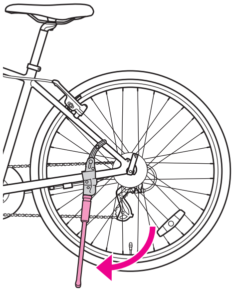
前ブレーキだけのブレーキ操作はしない

転倒によるケガのおそれがあります。

1 前後ブレーキをかけ、停車します

完全に停車してから、ブレーキ用レバーを握ったままゆっくりと降車します。

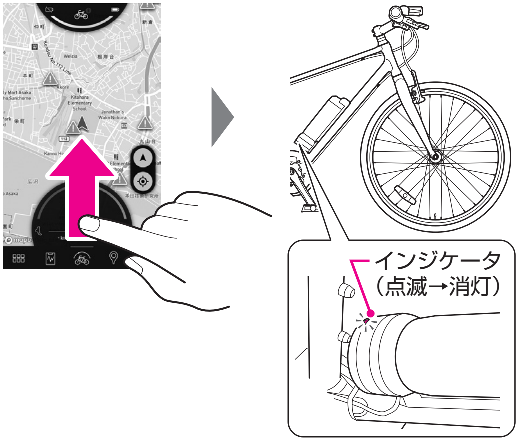
2 スタンドを立てます



平たんで安定した場所を選んでスタンドを立ててください。

乗りかた

3 「SmaChari®」アプリを終了します



「SmaChari®」アプリのメイン画面を上方にスワイプし、アプリを終了します。
通信ユニット部のインジケータが消えたことを確認します。

4 車体に鍵をかけ、バッテリーを取りはずします

◆ バッテリーの取りはずしかた、充電のしかた

☞「充電のしかた」21 ページ

お願い

- 盗難防止のため必ず錠をかけ、バッテリーを取り外してください。
- 雨ざらしになるところには駐輪しないでください。
- ハンドルが不用意に回転して自転車が転倒することのないよう、駐輪場所と自転車の角度に十分注意してください。

バッテリーの充電

充電のしかた

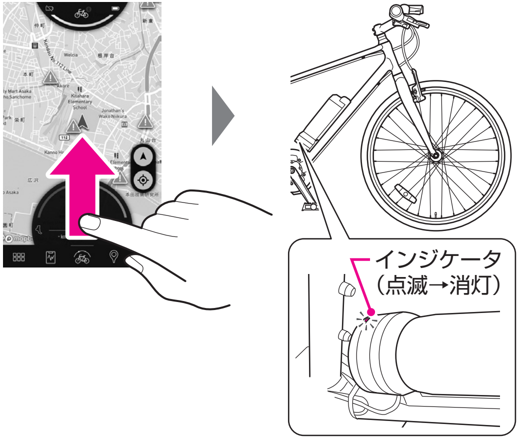
バッテリーを取り外して充電するとき

お知らせ

バッテリーを取り外さずに充電することもできます。

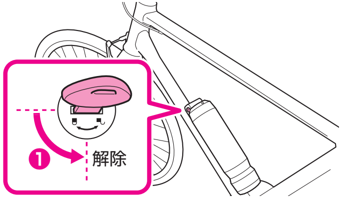
☞「バッテリーを取り外さずに充電するとき」24 ページ

1「SmaChari®」アプリを終了します



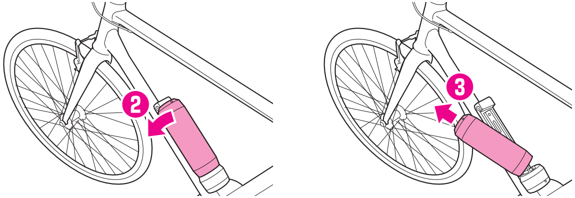
※ 通信ユニットのインジケータが消灯したことを確認してください。

2 キーをカギ穴に差し込み、時計方向に止まるまで回してバッテリーロックを開錠します



3 バッテリーを取り外します

バッテリー本体上部を車体左方向に少し倒したあと、バッテリーを両手で持って通信ユニットから取り外します。



バッテリーを外したら、カギ穴からキーを抜き取ります。

> **⚠ 注意**
>
> バッテリーは 2.8kg の重さがあります。取り出す際は落下させないよう、**必ず両手でしっかりと持って取り出してください。**

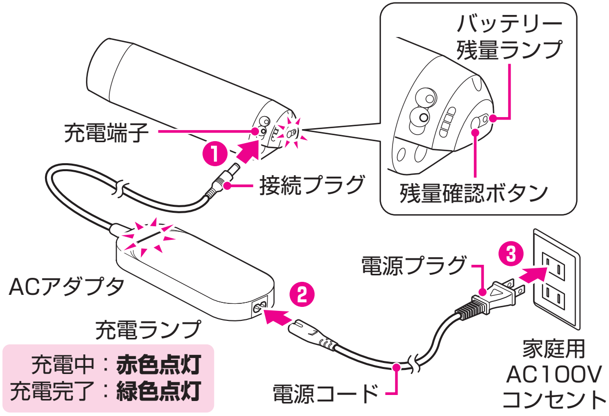
バッテリーの充電

4 バッテリーに充電アダプタを接続します

① バッテリーの充電端子に AC アダプタの
接続プラグを差し込む

② AC アダプタに電源コードを取り付ける

③ 電源プラグをコンセントに接続する



確実に接続されると充電が始まります。

充電中は AC アダプタの充電ランプが赤色点灯します。

バッテリーの残量確認ボタンを押すと、バッテリー残量に応じた色でバッテリー残量ランプが点灯します（一定時間経過後に消灯します）。

◆ 充電状態について

「充電状態の確認」25 ページ

⚠ 警告

充電中に異音や異臭がしたり煙がでるなど異常に気づいたら、ただちに充電器の電源プラグを抜き、接続プラグをバッテリー（充電端子）から取り外してください。

5 充電が完了したら、バッテリーを充電器から取り外します

充電が完了すると、バッテリーのバッテリー残量ランプが消灯し、充電器の充電ランプは緑色点灯に切り替わります。

① 電源プラグをコンセントから抜く

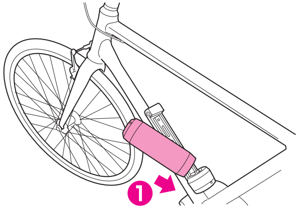
② バッテリーの充電端子から
AC アダプタの接続プラグを取り外す

③ AC アダプタから電源コードを取り外す

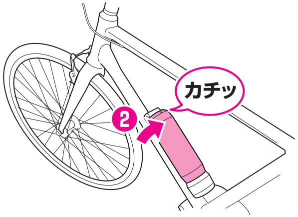
バッテリーの充電

6 自転車にバッテリーを取り付けます

バッテリーの接続部にごみなどが付着していないことを確認した後、バッテリー底部と車体側の台座にある端子が合うようにして、バッテリー下部を左方向からななめに差し込みます。



バッテリー上部をカチッと音がするまで押し込んで固定します。



装着後、バッテリーを左右に軽く動かし、確実に装着ロックされていることを確認してください。

警告

- バッテリーを取り付けるときに、指などをはさまないようにしてください。
- バッテリーはカチッと音がするまでしっかりと押し込んでください。確実に装着されていないと、バッテリーが落下するおそれがあります。

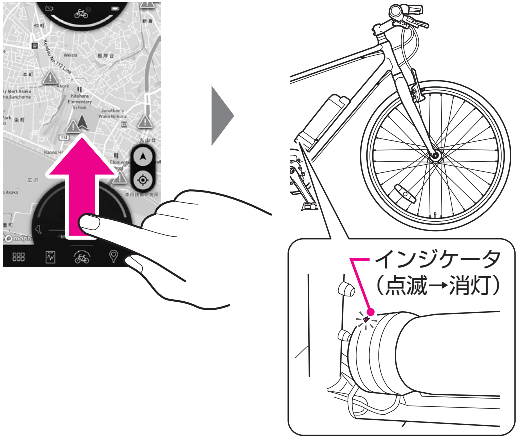
バッテリーの充電

バッテリーを取り外さずに充電するとき

ポイント

●バッテリーを取り外さずに充電するときは、必ず通信ユニット部のインジケータが消灯していることを確認してください。

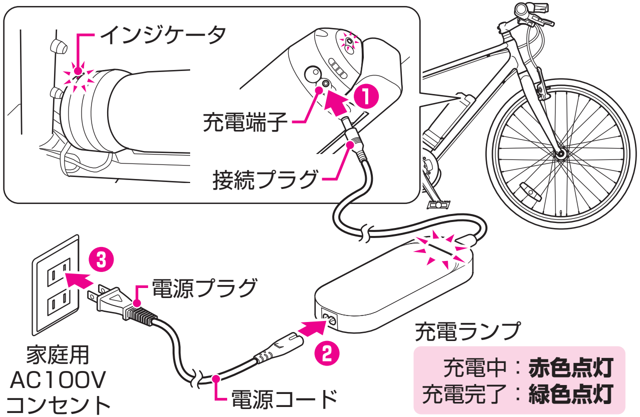
1 「SmaChari®」アプリが起動している場合はアプリを終了します



※ 通信ユニットのインジケータが消灯したことを確認してください。

2 バッテリーに充電アダプタを接続します

① バッテリーの充電端子に AC アダプタの接続プラグを差し込む
② AC アダプタに電源コードを取り付ける
③ 電源プラグをコンセントに接続する



確実に接続されると充電が始まります。
充電中は充電器の充電ランプが赤色点灯します。

◆ 充電状態について

「充電状態の確認」25 ページ

バッテリーの充電

警告

充電中に異音や異臭がしたり煙がでるなど異常に気づいたら、ただちに充電器の電源プラグを抜き、接続プラグをバッテリー（充電端子）から取り外してください。

3 充電が完了したら、バッテリーを充電器から取り外します

充電が完了すると、バッテリーのバッテリー残量ランプが消灯し、充電器の充電ランプは緑色点灯に切り替わります。

① 電源プラグをコンセントから抜く
② バッテリーの充電端子から
ACアダプタの接続プラグを取り外す
③ ACアダプタから電源コードを取り外す

充電状態の確認

充電の状態は、充電器の充電ランプとバッテリーのバッテリー残量ランプで行います。

充電器

充電ランプの表示	状　態
緑色点灯	充電完了 （バッテリーが接続されている場合）
赤色点灯	充電中

バッテリー本体

バッテリー残量ランプの表示	バッテリー残量
青色点灯	100～95%
緑色点灯	95～60%
赤色点灯	60～5%
赤色点滅	5%以下

ポイント

●充電時間は、バッテリー内部の温度によって異なります。
●充電時間の目安には、充電待ち時間（バッテリー内部温度が充電できる温度に下がるまでの時間）は含まれていません。

バッテリーの充電

バッテリー残量を確認する

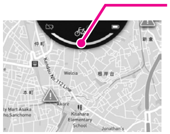
バッテリーにどの程度の容量が残っているか、どの程度充電されているかの目安は、「SmaChari®」アプリ画面、またはバッテリー本体のバッテリー残量ランプのいずれかで確認することができます。

ポイント

●バッテリーの容量が０（ゼロ）になっても普通の自転車として走行することができます。

バッテリー残量の確認（SmaChari アプリで確認する）

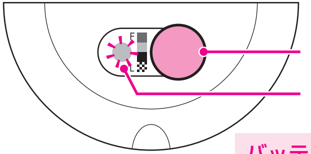
バッテリー残量はメイン画面の上部に表示されます。



バッテリー残量の確認（バッテリー本体で確認する）

バッテリー電源ボタンを押す

バッテリー残量ランプの点灯状態で残量をお知らせします。



バッテリー残量表示のみかた

点灯状態	バッテリー残量
青色点灯	100～95%
緑色点灯	95～60%
赤色点灯	60～5%
赤色点滅	5%以下

バッテリーの充電

バッテリーについて

この電動アシスト自転車はリチウムイオンバッテリーを装備しています。

装備バッテリー	**10Ah リチウムイオンバッテリー**
付属充電器	**急速充電器**

バッテリーをバッテリー残量ランプの赤色点滅まで使用した場合の、満充電までの充電時間はおおよそ以下のとおりです。

充電時間	**3 - 4 時間**

リチウムイオンバッテリーについて

リチウムイオンバッテリーは軽量で電池容量に優れたバッテリーですが、以下の特性があります。

●過度に暑い、または寒い環境で性能が低下する。
●使用していなくても、わずかずつ放電する。
●新品は性能が安定するまで数回使用する必要がある。

その他の特性については「バッテリーの特性」（次ページ）をご参照ください。
このバッテリーはコンピューターを内蔵しており、バッテリー残量の目安や異常の発生を、バッテリー残量ランプでお知らせします。
バッテリー残量は、バッテリー電源ボタンを押し、バッテリー残量ランプの点灯状態で確認できます。

◆ バッテリー残量の目安について

☞「バッテリー残量を確認する」26 ページ

◆ 異常点滅について

☞「バッテリー残量ランプが異常表示・異常点滅する」36 ページ

バッテリーの充電

充電に適した環境

過度に暑い場所や寒い場所では正しく充電できないことがあります。以下の充電に適した環境で行ってください。

●温度が 20 ～ 30℃の室内
●雨や水にぬれないところ
●直射日光に当たらないところ
●風通しがよく湿気がないところ
●平坦で安定するところ
●幼児やペットが触れられないところ

ポイント

●充電中、テレビやラジオにノイズが発生する場合は、場所を移動して充電を行ってください。

バッテリーの特性

●バッテリーの温度が上がると、アシスト力が低下することがありますが、システム保護制御が作動したためであり故障ではありません。バッテリーの温度が下がると回復します。また、変速位置をよりシフトダウンしてご利用いただくと、回避することができます。

●バッテリーの温度が下がると、充電 1 回当たりの走行可能距離が短くなったりアシスト力が低下することがありますが、リチウムイオンバッテリーの特性であり故障ではありません。温度が上がると回復します。また、バッテリーを温度 20 ～ 30℃の室内で保管してからご使用いただくと、症状を軽減することができます。

●使用していなくても、バッテリーはわずかずつ放電しています。ご使用いただく前に充電することで回復します。

●新品時は走行可能距離が短いときがありますが、数回ご使用いただき充電すると、本来の性能になります。

バッテリーの充電

バッテリーの寿命と交換

バッテリー容量は、充放電を繰り返し（約 500 サイクル *）行うと、新品のときの約半分にまで低下します。また、長期間保管しているときも、わずかずつですがバッテリー容量は低下します。バッテリー容量が低下すると 1 充電当たりの走行可能距離が短くなり、アシスト力が弱く感じることがあります。充電をしても回復する兆しがなければバッテリーの交換時期です。できるだけ早めにバッテリーを交換してください。なお、この場合の交換は有料となります。

* 充放電の「1 サイクル」とは、満充電にしたバッテリーをバッテリー残量が 0（ゼロ）になるまで使用し、再び満充電にする一連の工程をいいます。

ポイント

- 一充電あたりの走行可能距離が短く、アシスト力が弱く感じる場合はバッテリーの交換時期です。バッテリーの交換については、販売店にご相談ください。

バッテリー交換のお願い

リチウムイオンバッテリーは、資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）で、使用後の回収および再資源化が義務付けられています。交換したバッテリーの回収は、ご購入の販売店にご依頼ください。

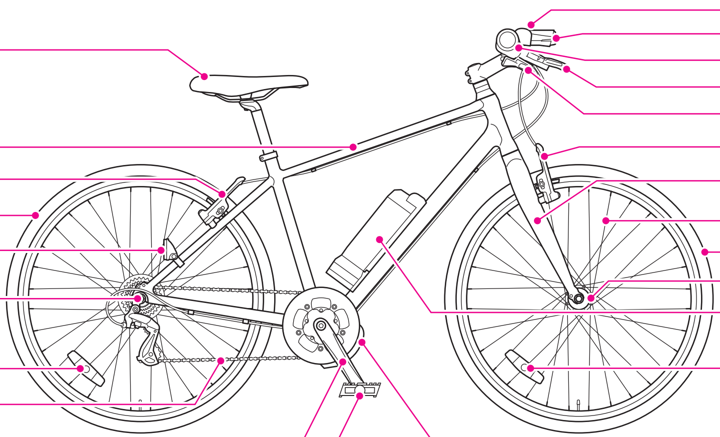
廃棄するときは

電動アシスト自転車を廃棄するときは、お住まいになる地域のルールに従ってください。ご不明の場合は、お買い求めいただいた販売店にご相談ください。
また、リチウムイオンバッテリーは、資源有効利用促進法に基づき、リサイクルが義務付けられています。バッテリーを廃棄するときは、お買い求めいただいた販売店へお持ちください。

乗車前点検をしましょう

乗車前の点検

安全に乗車していただくため、乗車前に下記の点検を実施する習慣をつけましょう。



車体・ハンドル・フレーム

ハンドルのがたつき、グリップの固定（12）

ハンドルを上下左右にゆすり、がたつきがなく、固定されているか点検します。
グリップが回ったり抜けたりしないか点検します。

サドルのがたつき（1）

サドルを上下左右にゆすり、がたつきがないか点検します。また、はめ合わせ限界標識が見えていないか点検します。

フレーム、前フォークの損傷（2，15）

変形、亀裂、膨れ等がないか点検します。

乗車前点検をしましょう

灯火・反射板等

LEDライトの点灯（11）

汚れ、損傷がないか点検します。
LEDライトが点灯するか、光の中心が10m先を照らすかどうか点検します。

リヤリフレクタの汚れ、損傷（5）

汚れ、損傷がないか点検します。汚れはふき取り、損傷している場合は交換してください。

サイドリフレクタの汚れ、損傷（7）

汚れ、損傷がないか点検します。汚れはふき取り、損傷している場合は交換してください。

タイヤ・車輪等

前・後ハブの固定状態（6）

タイヤをゆすり、ハブにがたつきがないか点検します。

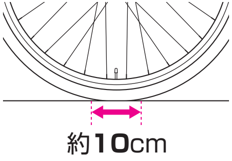
スポークの曲がり、損傷（16）

スポークに曲がりや損傷がないか点検します。

前後タイヤの空気圧、摩耗、損傷（4）

自転車に乗車したとき、タイヤの接地部の長さが約10cmになれば適正です。また、摩耗していないか、タイヤに釘などがささっていないか点検します。空気圧が減少しているとアシスト走行可能距離に大きく影響します。

標準空気圧：
タイヤ側面に記載



駆動部・制動部

ペダル、クランクのがたつき（9）

ペダル、クランクをゆすり、がたつきがないか点検します。

チェーンの状態（8）

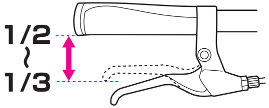
滑らかに動くか、異物がはさまっていないか、チェーン表面にサビなどがないか点検します。

変速機の作動（14）

クランクを回転させながらシフトレバーを操作し、正しく変速するか点検します。

前後ブレーキ用レバーの握りしろ・ワイヤーの損傷（13）

ブレーキ用レバーが固定されているか点検します。
ブレーキワイヤーの損傷、外れがないか点検します。
ブレーキ用レバーが開放時の1/2～1/3の位置でブレーキが効き始めることを点検します。



前後ブレーキの点検（3）

前後ブレーキがよく効くか点検します。効きが弱い場合は販売店で調整をお受けください。

前後ブレーキパッドの点検（3）

前後ブレーキパッドがディスクブレーキローターに当たったままになっていないか点検します。

バッテリー・システム

バッテリーの取付状態　（17）

確実に取り付けられていることを点検します。

ドライブユニットが作動するか（18）

発進時に、パワーアシストシステムが作動するか点検します。

お手入れと保管

- ●いたずらや盗難を予防するために必ず施錠し、バッテリーを取り外してください。
- ●屋外ではサイクルカバー（別売アクセサリー）をかけてください。ご購入の際は、販売店にご相談ください。

長期保管（１か月以上）と長期保管後の再使用

長期保管（１か月以上）するときは

１か月以上の長期間にわたり使用しないときは、バッテリーを取り外し以下の要領で保管してください。

- ●バッテリー残量を赤色または緑色の点灯状態にし、屋内の涼しい（10 ～ 20℃）、湿気のない場所で保管してください。
- ●月に１度はバッテリー残量を確認し、赤色点滅になっているときは 10 分程度充電して、バッテリーの残量が著しく低下しないようにしてください。

６か月以上保管する場合

- ●上記の要領で保管し、３か月おきに１～２時間程度充電してください。

ポイント

- ●バッテリーは満充電、または空の状態で放置すると劣化が早まります。
- ●自己放電により保管時もわずかずつ放電し、容量は低下します。

長期保管後に再使用するときは

使用する前にバッテリーを必ず充電してください。

- ●バッテリーの状態により、充電時間が延びることがあります。

こんなときは

故障かな？と思ったら

以下の表に従ってお調べいただき、直らない場合は販売店にご相談ください。

ペダルが重い・アシストしない

症状および確認内容	対処方法
バッテリーが正しく台座に取り付けられていますか？	バッテリーが正しく台座に取り付けられているか確認してください。 (➡「バッテリーを取り付ける」11 ページ)
バッテリーの残量が「0」になっていませんか？	通信ユニット部のインジケータが赤色点滅（1 秒間隔）していたら充電が必要です。バッテリーを充電してください。(➡「バッテリーの充電」21 ページ)
タイヤの空気圧が低くありませんか？	自転車用空気入れを使用し、適切な空気圧まで空気を入れてください。
SmaChari® アプリは正しく Bluetooth® 接続されていますか？	通信ユニット部のインジケータが 1 秒間隔で点滅しているか確認してください。
SmaChari® アプリのアシスト設定は適切ですか？	アプリの設定画面で設定内容を確認してください。
通信ユニット、または SmaChari® アプリでエラーが発生していませんか？	通信ユニット部のインジケータが 2 秒間隔で赤色点滅している場合はエラーが発生しています。SmaChari® アプリを終了し、通信ユニット部からバッテリーを取り外して 5 秒以上おいてからバッテリーを取り付け直し、SmaChari® アプリを起動して確認してください。
通信ユニットのインジケータが橙色点灯していませんか？	通信ユニット部からバッテリーを取り外し、インジケータが消灯したのを確認してから再度バッテリーを取り付けてください。

こんなときは

症状および確認内容	対処方法
気温が高いところで使用していませんか？ または走行負荷が大きい走りかた（長い坂道や重い荷物を積載）をしていませんか？	バッテリーまたはドライブユニットの温度が上がったための制御で、異常ではありません。温度が下がれば回復します。自転車への負荷を軽くし､バッテリーやドライブユニットを少し休ませてから再度使用してください。 **⇒通常使用している変速位置よりシフトダウンしてご利用いただくと、症状がでにくくなります。** **（例：〈5 速〉→〈4 速〉）**
気温が低いところで使用していませんか？	気温が暖かくなると回復します。また、バッテリーを温度が 20 ～ 30℃の屋内で保管しておいて使用すると、この症状を軽くすることができます。

走行可能距離が短い

症状および確認内容	対処方法
充分に充電が行われていますか？	満充電（バッテリー残量ランプが青色点灯）になるまで充電してください。
バッテリーが劣化していませんか？	バッテリーを交換してください。
気温が低いところで使用していませんか？	気温が暖かくなると回復します。また、バッテリーを温度が 20 ～ 30℃の屋内で保管しておいて使用すると、この症状を軽くすることができます。

こんなときは

充電できない

<table>
<tr><th>症状および確認内容</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>電源プラグはしっかり接続されていますか？また、バッテリーは確実に接続されていますか？</td><td rowspan="3">もう一度、接続をやりなおして充電してください。</td></tr>
<tr><td>充電器の充電ランプは点灯していますか？</td></tr>
<tr><td>バッテリーのバッテリー残量ランプは点灯していますか？</td></tr>
</table>

異音・異臭、あるいは煙がでる

症状および確認内容	対処方法
パワーアシスト機構から普段と異なる音や異臭、煙がでる。	ご使用を中止し、販売店で点検をお受けください。
充電器から異音や異臭、煙がでる。	充電を中止してただちに充電器の電源プラグを抜き、販売店で点検をお受けください。

こんなときは

充電器が熱い

症状および確認内容	対処方法
手で触れることができる程度に熱い。	充電中は多少の熱（約 40 ～ 60℃）を持ちますが、故障ではありません。
手で触れることができないほど熱い。	使用を中止してただちに充電器の電源プラグを抜き、販売店で点検をお受けください。

バッテリー残量メーター／バッテリー残量ランプが表示しない

症状および確認内容	対処方法
アシストはするが、通信ユニットのインジケータが消灯している。	バッテリーを取り外し、バッテリーの接続端子を乾いた布や綿棒で清掃してください。 清掃後、バッテリーを取り付けてください。
充電したが、通信ユニットのインジケータが満充電表示にならない。	温度が 20 ～ 30℃の屋内で、もう一度充電してください。
充電終了後、通信ユニットのインジケータが点灯しない。	再度、接続しなおして充電してください。 ⇒充電の途中で、電源プラグまたはバッテリーが抜けたおそれがあります。

メインスイッチが異常表示・異常点滅する

ご使用を止め、販売店で点検をお受けください。

バッテリー残量ランプが異常表示・異常点滅する

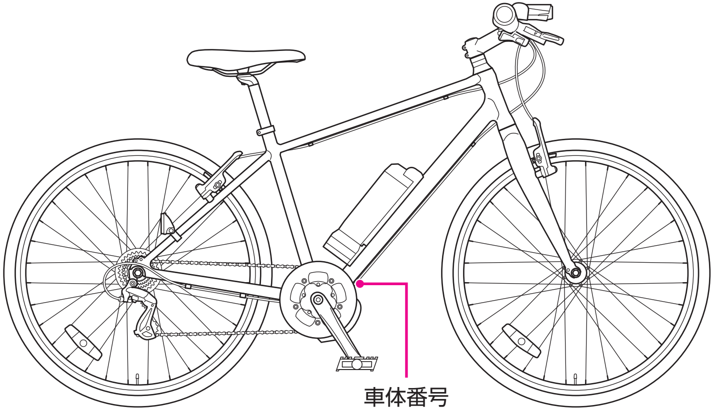
ご使用を止め、販売店で点検をお受けください。

ご存じですか？

防犯登録について

●防犯登録は、法律で義務付けられていますので、お買い上げの販売店または、自転車防犯登録所の看板のある自転車店にご相談ください。登録には車体番号が必要です。

●盗難にあった場合に捜す手掛かりになりますので、車体番号を本書に記入しておいてください。また、キーを紛失したときのために、キー番号も本書に記入しておいてください。



memo

memo

株式会社ワイ・インターナショナル
〒 170-0013 東京都豊島区東池袋 1-27-8

本製品に関するお問い合わせは
https://ysroad.co.jp/contactlist/

2309-01